

2010年9月21日

日本ディスプレイデザイン協会選出
ディスプレイデザイン賞 2010 入選
～エキジビション部門・商業施設部門で2作品～

社団法人 日本ディスプレイデザイン協会（DDA）が主催する「ディスプレイデザイン賞 2010」において、(株)ラックランド [東京都新宿区/代表取締役社長:望月圭一郎] が手掛けた2物件が入選いたしました。今年で43回目を迎える当コンテストの総応募数は795作品、ラックランドは初のエントリーで2部門2作品が入選を果たしました。
< DDA ホームページ <http://www.dda.or.jp/> >

入選作品は 次の通りです。

- 『坂の上の雲』のまち松山 スペシャルドラマ館 / エキジビション部門
- 「ヤマイチ原木中山店」 / 商業施設部門

『坂の上の雲』のまち松山 スペシャルドラマ館は、NHKのスペシャルドラマ『坂の上の雲』のストーリーに基づき、明治・松山の魅力体感空間を展示しています。松山城ロープウェイ駅舎2Fに開設され観光名所して賑うとともに、今後はドラマの第二部放送開始に向けて、リニューアルが予定されています。

「ヤマイチ原木中山店」は、東京都江戸川区と千葉県に展開する総合食品スーパー「ヤマイチ」の新店舗、千葉県船橋市に今年4月にオープンしました。スーパーマーケットの設計・施工はラックランドの得意分野、商業施設の中でも食品スーパーはデザイン性を強く主張しにくい空間ですが、「購入動機促進のための展示計画」にもとづき、シンプルかつ上質感漂う空間創りに挑戦しました。

今回のダブル入選を、今後も様々なジャンルの空間創りに挑戦する上の推進力としていきます。ラックランドのミッション“商空間創りを通じ、皆の笑顔を創りだすこと”の実践のために、企画力・設計力・技術力を磨き、今後も優れた空間創りに全力を投じてまいります。

◆ 当プレスリリースに関するお問い合わせ先 ◆

総務部/広報担当 木鋪(きしく)奈央 TEL 03-3377-9331 fax 03-3377-8716
mail / press@luckland.co.jp

■ 『坂の上の雲』のまち松山 スペシャルドラマ館



コンセプト

司馬遼太郎原作『坂の上の雲』のストーリーに基づきながらも、ドラマ紹介をメインとする構成。可憐に咲く野の花は、湧き立つように雲となりエントランスを覆います。原作の紹介コーナーは、シャドーボックスの手法を取り入れ、物語性や時代性の郷愁を再現し、正岡子規根岸の家は、空間上の規制を考慮しながらも忠実に再現。壮大な物語性、原作、原作者への熱いファンの想い、登場人物の生きざま、演じる役者の姿など、多岐な内容を総覧的に、しかしながらドラマティックに展開します。

■ 「ヤマイチ原木中山店」



コンセプト

スーパーマーケットの設計とは常に現実との戦いです。扱う商品単価は低く売り場面積は広いうえに、概ね予算も厳しく、デザインとは一見掛け離れた世界です。更に今般は、天井は低く太い支柱が連立する奥行き 60M という駅高架下の立地でした。空間特性上の圧迫感の排除（支柱をミラー貼り、天井に間接照明など）、見易く購入し易く回遊し易い導線計画（フラン構想）、購入動機促進の為の展示計画（商品が際立つよう使用マテリアルを5種に限定）などを熟慮し、いわゆる“鰻の寝床”をシンプルで上質感漂う空間創りに挑戦しました。